

1学期のまとめと夏休みに向けて

1学期が終わりを迎えようとしています。生徒の皆さんは、学習や行事、日々の生活の中で、それぞれの目標に向かって努力を重ねてきました。思うようにいかなかったこともあったかもしれませんが、その経験こそが次の成長につながる大切な一歩です。

山梨県韮崎市出身の詩人で、宮沢賢治との親交もあった保阪嘉内は、若い頃から自然や学問に強い関心を持ち、中学生だった1910年には郷里で観察したハレー彗星を丁寧にスケッチし、それは後に天文学上の貴重な資料と認められました。空を見上げ、遠い世界に思いを馳せながら、自分の学びを深めようとした姿は、今の生徒の皆さんにも重なることがあります。また、嘉内は青年期に「花園農村」という理想の農村像を描き、地域の未来をよりよくするために何ができるかを真剣に考え続けた人物でもあります。自分の暮らす地域や社会をよりよくしたいという思いは、どんな時代にも大切な姿勢です。特に生徒の皆さんは、身延町観光大使を町長より任命されています。嘉内の姿勢に学ぶべきところがたくさんあるのではと思っています。このことも含めて夏休みを迎えるにあたり、ぜひ1学期の自分を振り返ってみてほしいと思っています。できるようになったこと、続けてきた努力、これから伸ばしたいこと、こうした振り返りが、2学期の新しいスタートをより確かなものにしてくれます。夏休みは、心と体を整え、普段できないことに挑戦できる貴重な時間です。安全に気をつけながら、充実した日々を過ごしてください。そして、また元気な姿で2学期を迎えられることを楽しみにしています。

■ 芸術鑑賞教室

6月17日(水) 身延町総合文化会館で、芸術鑑賞教室が行われました。町の補助金や町の施設等を使用する中で、生徒に芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うことを目的に、例年、優れた舞台芸術を鑑賞しています。今年度は劇団たんぽぽによる「永遠の夏休み」という劇を鑑賞しました。塾通いで忙しいショウタ、アツシ、ノブは、1年前、親友・タケルがいる天命川でのキャンプで、「天命水」を飲んだ者の心からの願いは必ず叶うという白鷹山に伝わる伝説を聞き、自ら確認しにいくため次の夏に探しに行く約束をしたものの、その約束を破ってしまいました。そして親友タケルの死。果たされることのなかった約束を胸に3名は天命水を探す冒険に出ます。タケルからの最後の贈り物は、勇気と生きる力。そして確かな友情でした。現代劇で、自分たちにも近いシチュエーションから共感できる内容で、深く考えさせられるものでした。70分の劇でしたが、集中してあっという間の時間で、「友情などの大切さが伝わってきた」と物語の中に感情移入できたことが伺える感想発表をしていました。輝桜祭に向けても参考になる演技等がもりだくさんでした。ぜひ参考に輝桜祭に生かしてほしいと思います。



■ 学年総会が行われました！

6月19日(金)5, 6校時に3年生は多目的室で、5月29日(木)に2年生は柔道場で、1年生は多目的室で学年総会が行われました。3年生は、修学旅行での成果と課題について話し合いを持った後、最終学年としての学年目標を「自ら動き、仲間と創り上げる集大成」とし、スローガン「共創」について、「責任」と「信頼」の2つの柱を掲げて取り組んでいくことが決まりました。2年生の学年スローガンは「努力」に決まりました。「努力の先に最高の笑顔がある」とはどのような姿かなどを具体的な場面を共有し、皆でより良い学年をつくっていかうと確認する会でした。1年生は、「有言実行」を学年目標に、「Discovery～34の笑顔を咲かせよう！」をスローガンとして、これから諸活動に取り組んでいくことを皆で確認していました。それぞれのクラス、学年が特色ある取組を展開することで、身延中学校に彩りをもたらし、さらに魅力的な学校になっていくことができればと思います。



■ 福祉学習会(1年生)

6月19日(金)5, 6校時 1年生を対象に身延町社会福祉協議会の方を招聘して福祉学習会を行いました。

プレゼンソフトを使いながら地域の福祉について学んだ後、障害者の疑似体験として、車いすに乗って動かしてみたり、障害物や段差などで車いすを押してもらったりしました。また、視覚障害体験として、アイマスクをして白杖の使い方や介助の方法も学びました。7月6日(月)5, 6校時には、体育と道德の授業を兼ねて、視覚障害の走幅跳で東京パラリンピックに出場したパラアスリートの高田さんとアトランタ五輪リレー日本代表で高田さんを補助する大森さんを招聘し、走る楽しさとパラ競技を通じて障害者と触れ合い理解を深めてもらいたいという思いを語っていただき、実際にアイマスクをして伴走する体験をしました。高田さんは、40歳を超えた現在も記録更新のために日々努力しているというお話は、生徒たちにも夢を持ち続けることの大切さを痛感する良い機会となったのではないかと思います。障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育が求められている中、共生社会の形成に向けたこのような取組はとても大切であると思いました。



■ 下山小児童への図書委員の読み聞かせ

6月29日(月)8:20~8:35 朝読書の時間に図書委員10名が下山小に出向いて、中学生の読み聞かせを行いました。小学生に本の楽しさを味わってもらうことと、下山小児童と身延中生徒の交流の場とすることを目的に行われました。図書委員は、最近読み聞かせした本とかぶらないように事前に小中両校の学校司書に相談して読む本を決めました。「緊張していたけどしっかりと丁寧に読み聞かせをしていた」と、感謝とともに褒めの言葉を下山小学校長からいただきました。次回は11月30日に実施する予定です。



■ 授業参観・PTA教養部・保健委員会主催講演会・学級懇談会

7月14日(火) 1学期最後の授業参観が行われました。3年生は、6か所に分かれて修学旅行の報告を、1, 2年生は、通常の授業を参観いただきました。保護者の参観に、いつもより緊張した面持ちで授業に臨んでいる感じがしました。授業後は、場所を体育館に移し、PTA教養部と保健委員会がタイアップして、JES日本教育シューズ協議会会長の早川さんと早稲田大学人間科学学術院招聘研究員の吉村さんを招聘し「靴と足が変わると、未来が変わる」と題して「足育」について学びました。昨年度の本校の体力テストの結果を体育主任が報告し、その後、足に靴が合っていないことの弊害や靴選びについて学びました。実際に正しい靴の履き方をしてみると、そうでない今までの履き方の場合と比べて全く違うことを実感しており、これからの運動能力の向上や姿勢、けがの予防に繋がればと思いました。その後、保護者の皆様には学級懇談会にも参加していただき、今学期中の生徒の様子や今後についての話し合いの場が持たれました。



■ 特別支援学級交流授業

7月15日(水)6校時 下山小の特別支援学級の児童と交流会が本校で行われました。中1ギャップの解消もあり、小学生には中学校に対して良いイメージをもってもらいたいという思いから、プレゼンソフトで作成した自己紹介スライドを大型テレビに映し出してお互いに紹介し合う活動が行われました。小学生にとっても楽しい一時となったのではないかと思います。



■ 夏休み集会

7月21日(火)3校時 昨年度まで県警生活安全部人身安全・少年対策官で、現在、甲府市立の中学校の先生を招聘して、夏休みを前に SNS の使い方についての集会をもちました。安全に有意義な夏休みにしてほしいと思います。



県柔道選手権大会 **男子団体3位** 個人戦 **優勝** 3年 片田さん **ベスト16** 3年 小林さん
 峡南地区ソフトテニス大会 **女子ソフトテニス** 個人戦 **優勝** 3年 小泉さん・若尾さん
 インラインスケート選手権大会山梨県中学男子 **優勝** 3年 熊谷さん

*個人情報保護のため名字のみを記載しています

